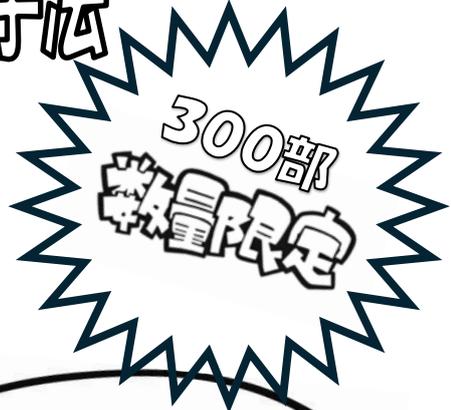
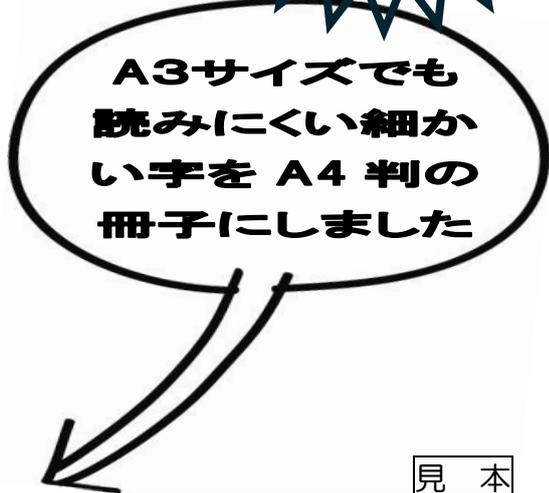




# 適切なケアマネジメント手法 項目一覧



適切なケアマネジメント手法の概要版の  
基本ケア+4疾患・1 予防すべてを1 つの冊子にまとめました。  
より見やすく、実践で活用できます！



## 概要版

支援内容	小項目	支援内容	支援の概要、必要性	適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等	相談すべき専門職
1-再骨折の予防	1-1 転倒予防	1-1-1 転倒予防	転倒した状況や要因を把握し評価することにより、転倒しやすい状況の改善や、適切なリハビリテーション目標を設定。	転倒した状況や要因を把握し評価することにより、転倒しやすい状況の改善や、適切なリハビリテーション目標を設定。 自宅内の動線（日常的に過ごす場所、居室と廊下の移動、廊下とトイレ・洗面所の移動など）	医師、看護師、PT/OT/ST、介護職
			自分の身体機能を理解し、それにあわせて生活動作を身に付けることで、転倒予防を行い、再骨折を予防。	転倒に対する本人・家族等の理解度 本人の身体能力、生活動作の確認	医師、看護師、PT/OT/ST、介護職
			転倒の身体機能も理解し、身体機能を向上させることで転倒予防を行い、再骨折を予防。	転倒に対する本人・家族等の理解度 本人の身体能力、生活動作の確認	医師、看護師、PT/OT/ST、介護職
1-2 褥瘡の予防	1-2-1 褥瘡予防	4 褥瘡予防の支援 ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施	自宅での褥瘡を予防し避けるため、本人・家族等が褥瘡を予防できるような状態を維持し、褥瘡の発症を防ぐことができるように、本人・家族等に加え、必要に応じて専門職と連携して支援体制を整備。 褥瘡を予防し避けるため、本人・家族等に加え、必要に応じて専門職と連携して支援体制を整備。	転倒に対する本人・家族等の理解度 本人の身体能力、生活動作の確認 褥瘡の発症状況（褥瘡の発症場所、褥瘡の管理状況（褥瘡の管理場所、保管方法）	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、PT/OT/ST、介護職

見本

1 再骨折の予防		1. 転倒した状況や要因の継続的な把握・評価を確認する体制を整える ※基本ケアとも重複するが「リスク評価」結果を踏まえて特に留意して実施		
1-1. 転倒予防				
1-1-1 転倒予防				
支援の概要、必要性	適切な支援内容とするための関連するアセスメント/モニタリング項目等			
支援の概要、必要性	主なアセスメント/モニタリング項目 ※内容の詳細や留意点などは本編を参照	アセスメント項目	モニタリング項目	相談すべき専門職
転倒した状況や要因を把握し評価することにより、転倒しやすい状況の改善や、適切なリハビリテーション目標を設定。	過去の転倒歴（転倒が起きた状況など）	0	0	医師、看護師、PT/OT/ST、介護職
	転倒に対する本人・家族等の理解度	0	0	
		自宅内の動線（日常的に過ごす場所、		

日本総研から基本ケアの項目一覧が公開されていますが、全ての概要版を同じ様式にそろえて一冊にまとめました。

現場ではもちろん、法定研修等でも活用できます。

発行 12月上旬  
販売予定価格 2,800円（消費税込み）  
※送料別途必要  
申込方法 QRコード又は本会のホームページからお申込みください。



問い合わせ先 愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課 (担当: 渡邊・平田・久保)  
〒790-8553 松山市持田町3丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館2階  
TEL 089-921-8359 FAX 089-921-3398  
Email caremane@ehime-syakyo.or.jp